

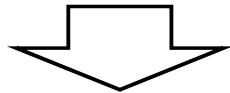
## 平成24年行政事業レビューシート

(農林水産省)

事業名	新型感染症発生時等の食料供給能力向上対策事業	担当部局庁	大臣官房	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度～平成24年度	担当課室	食料安全保障課	食料安全保障課長 太田 豊彦				
会計区分	一般会計	施策名	④ 総合的な食料安全保障の確保					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—	関係する計画、通知等	食料・農業・農村基本計画					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	新型インフルエンザ等の感染症、地震や津波等の大規模自然災害等の発生時においては、食品産業事業者の操業度の低下などにより、国民への食料供給が停滞するおそれがある。 このため、緊急時における食品産業事業者の事業継続能力の向上を図ることが必要であり、危機管理体制、優先的に復旧・継続すべき重要業務、重要業務を継続するための対策等を定めた事業継続計画の策定等を推進する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	1. 主に事業継続計画が未策定の事業者を対象として、事業継続計画の策定を促進する研修会を開催する。 2. 既に事業継続計画が策定済み、もしくは策定中の事業者を対象として、サプライチェーンの一員として課題や要望の共有認識を図るとともに、内容の妥当性や実効性を向上させるための研修会を開催する。 3. 有識者を招き、食料品の供給に係るサプライチェーンを意識した事業継続計画について検証し、問題点を明らかにするとともに改善策などを議論する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算	—	30	27	22		
		補正予算	—	0	0	0		
		繰越し等	—	0	0	0		
		計	—	30	27	22		
	執行額		—	30	27			
	執行率(%)		—	100	100			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	22年度 平成22年度末までに事業継続計画策定済の食品産業事業者の割合を3割まで増加。		成果実績 (目標値)		—	3割 (3割)	5割 (7割)	7割 (23年度)
	23年度 平成23年度末までに事業継続計画策定済の食品産業事業者の割合を7割まで増加。		達成度	%	—	100	71.4	
	24年度 事業継続計画策定済みの食品産業事業者間で締結される協定が、事業終了の翌年度に10件を超える。		成果実績					10件 (25年度)
	※協定とは、緊急事態の発生時においても、事業者が自律的に対応し、食料の安定供給が維持できるよう、平素より事業者間でお互いの対応について取り決めるもの。		達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	研修会の実施		活動実績 (当初見込み)	回	—	24 ( 24 )	52 ( 47 )	— ( 8 )
単位当たりコスト	519,231(円／1研修会)		算出根拠	★算出根拠 H23年度執行額:27百万円／研修会開催回数(52回) ★過去の単位あたりコスト 平成22年度:895,833円／1研修会				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	協定の指針等の策定費等	18						
	研修会の開催費等	4						
	計	22						

事業所管部局による点検				
	評価	項目		評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。		
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。		
	－	利用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。		
資金の流れ、使途・費目	△	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。		<p>公募により競争性を確保しているところであるが、公募期間に東日本大震災が発生したこと等から、応募企業が1社のみであった。</p> <p>24年度事業の公募にあたっては、より多くの応募を得るため、HP等への掲載に加え、複数の企業に対して電話による案内を行った。</p> <p>その結果、4社からの応募があった。</p>
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。		
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。		<p>平成23年度末までに食品産業事業者の7割が事業継続計画を策定することを政策目標に掲げている。</p> <p>各事業者における計画の策定にはそれぞれの社内における慎重な検討を要し、長い時間を要するため、分かりやすい資料を使用し、その場で実際に基礎的な計画を作成する実践的な演習を行う研修会を全国で開催することで、より効率的な事業となるよう努めた。</p> <p>その結果、研修会参加事業者を対象に研修会から一定期間が経過した後に実施したアンケートでは、計画策定済み、策定中及び、策定の必要性を感じた事業者は8割となり、事業の成果となる策定事業者数は、今後、着実に増加していくと考えられる。</p>
	△	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。		
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。		
	－	※類似事業名とその所管部局・府省名		
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	<p>東日本大震災の影響により、事業継続計画の策定に対する関心が高まっている一方で、事業で実施したアンケートでは、事業継続計画策定に向けた知識を求める声が多く寄せられており、広くニーズが存在している。</p> <p>このため、事業継続計画策定に向けた知識の普及にあたっては、各事業者を個別に訪問するより、分かりやすい資料を使用し、その場で実際に基礎的な計画を作成する実践的な演習を行う研修会を全国で開催することで、より効率的な事業となるよう努めた。</p> <p>成果物の活用については、研修会で使用した資料、研修会における講義の動画をHP上に掲載し、研修の内容の復習、不参加者に対する知識の普及を実施している。</p> <p>研修会の結果、参加者の約8割が事業継続計画を策定若しくは策定の必要性を認識したことにより、事業の有効性を実証した。</p> <p>なお、同じ予算で多くの成果を引き出すため、委託業者との打合せを頻繁に実施し、事業の進捗状況や執行状況等を把握するとともに、企業ヒアリングの実施に関しても、ヒアリング内容について効果的な回答が得られるよう事前調整等を実施した。その他、研修会の開催に当たっては、参加者を幅広く募集し、食品産業関係団体のほか、商工会議所や地方公共団体等へも当該研修会の活用を呼びかけ、より多くの事業者が事業継続計画を策定するよう努めた。</p>			
予算監視・効率化チームの所見				
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)				
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）				
関連する過去のレビューシートの事業番号				
平成22年行政事業レビュー		平成23年行政事業レビュー	新22-0014	

農林水産省  
27百万円



【企画競争・委託 1社／1社】  
A.NKSJリスクマネジメント(株)

- 1. 主に事業継続計画が未策定の事業者を対象として、事業継続計画の策定を促進する研修会を開催する。
- 2. 既に事業継続計画が策定済み、もしくは策定中の事業者を対象として、サプライチェーンの一員として課題や要望の共有認識を図るとともに、内容の妥当性や実効性を向上させるための研修会を開催する。
- 3. 有識者を招き、食料品の供給に係るサプライチェーンを意識した事業継続計画について検証し、問題点を明らかにするとともに改善策などを



【委託】  
B.民間企業(3社)

- 1. 会場手配
- 2. 印刷費
- 3. 動画の収録・編集

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

<b>費目・使途</b> (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A. NKSJリスクマネジメント㈱			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費	研修会の開催	10			
	外部委託費	会場手配(㈱プロアクティブ)、印刷費(㈱サンワ)、映像収録費(㈱プロジェクト・ラム)	10			
	物件費	研修会運営費、旅費交通費等	5			
	その他	間接経費、消費税等	2			
	計		27	計		0
	B.㈱プロアクティブ			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費	会場手配(㈱プロアクティブ)	7			
	計		7	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

# 支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	NKSJリスクマネジメント(株)	研修会の実施	27	1	100
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)プロアクティブ	会場手配	7	随意契約	—
2	(株)サンワ	印刷	2	随意契約	—
3	(株)プロジェクト・ラム	映像収録	1	随意契約	—
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					